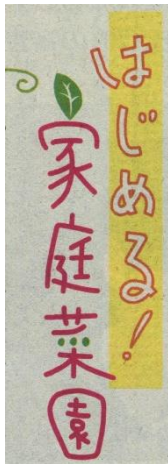


①必要な材料をそろえよう



作物に合った土・肥料を

プランターで野菜を作るときに必要なものは、野菜の種、苗、培養土、肥料などです。野菜の種や苗は、季節でいろいろあります。その時期にあわせた野菜を選びましょう。植物が育つためには、体を支え、必要な水分や栄養素を吸収するための根がしっかりと伸びる必要があります。そのためには、育てる土が大切です。

良い土の条件は①通気や排水、保水が良いこと②栄養に富んでいること③適当な酸度であること④清潔で異物がないことなどが挙げられます。

土の酸度については、多くの野菜はpH6から6.5の弱酸性の土壌を好みます。

プランター栽培に使われる土は、黒土、赤玉土、鹿沼土、ボラ土、腐葉土、ピートモス、バーミキュライト、パーライトなどが一般的です。これらを数種類、混合して使いますが、そろえるのは大変なので、市販のプランター用の混合された培養土を使うのもいいでしょう。

プランターも、大きさや形も様々です。育てる野菜の性質に合わせ、横長のものや深さのあるものなど使い分けると良いです。例えばコマツナやレタスなど葉物野菜は横長のプランター、草丈が高く、栽培期間が長いミニトマトなどは深型のプランターを使うと良いでしょう。

植物は、土に根を張り、水分と合わせて栄養分を吸収し成長します。土の中にある栄養分だけでは不足するので、栄養分を補給してやります。これが肥料と呼ばれるもので、特に必要な肥料の成分はチッソ(N)、リン酸(P)、カリ(K)の3要素といわれる成分です。そのほかカルシウム、マグネシウムを加え5要素と呼んでいます。

チッソは植物の葉や茎の成長に重要な養分です。リン酸は花の開花や実を着けるのに大きな働きをします。カリは根の発育を促します。ほかにも鉄、ホウ素などの微量要素と呼ばれる必要な成分もあります。

場所は日当たり、風通しが良いところを選びます。育てる作物によっては、夏の強い日差しを好むものやそうでないものもあるので、作物に合わせて選んでください。また、ベランダ等では、避難通路をふさいだり、落下の危険がある場所、排水溝をふさぐ恐れのある場所を避けてください。



今月から鹿児島市都市農業センターのみなさんに、家庭でできる野菜作りを教えてください。

